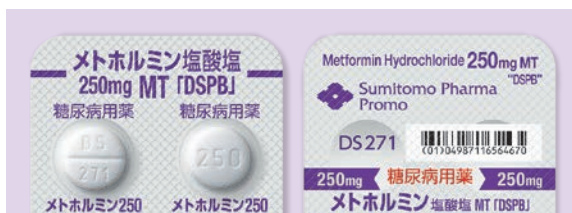


**メトホルミン塩酸塩錠MT「DSPB」を
服用される方へ**

メトホルミン塩酸塩錠MT「DSPB」を服用される方へ

血糖値を下げる薬が処方されています。以下の点にご注意ください。

「糖尿病用薬」の記載をよく確かめてのんでください。



錠剤からのおいがすることがありますが、品質・安全性・有効性に問題はありません。

1 メトホルミンのみ方について

- 薬の量やのみ方は、医師または薬剤師の指導を正しく守ってください。食事をとれなかったときの服用をどうするかは、医師または薬剤師にご相談ください。
- のみ忘れたときは、次の服用の時間に1回分をのんでください。2回分を一度にのんではいけません。

2 メトホルミン服用中に気をつけなければいけないこと

(1) 乳酸アシドーシス

次のような症状がひどいときまたは続くときは、メトホルミンをのむのをいったんやめ、すぐに医師にご連絡ください。

症状:吐き気、嘔吐(おうと)などの胃腸症状、体がだるい、筋肉痛、呼吸が苦しいなど

(2) 低血糖

次のような症状が起きることがあります。低血糖は軽いうちは糖分をとると治ります。すぐに糖質を含む食品やブドウ糖などをとってください。

症状:強い空腹感、力のぬけた感じ、発汗、手足のふるえ、頭痛など

高所作業や自動車の運転等危険を伴う作業に従事しているときに低血糖を起こすと事故につながる可能性があります。特に注意してください。

これらの内容をご家族やまわりの方にもお知らせください。

乳酸アシドーシスや低血糖については、裏面の説明もご覧ください。

3 乳酸アシドーシスについて

(1) 乳酸アシドーシスとは

血中の乳酸が異常に増えて血液が酸性になった状態です。まれな副作用(およそ3~10人/10万人・年)ですが、治療が必要な状態です。乳酸アシドーシスは早期治療とともに予防も大切です。

(2) 乳酸アシドーシスの予防には

- **腎臓**や肝臓、心臓、肺に病気のある人、透析を受けている人、乳酸アシドーシスを起こしたことのある人は医師に申し出てください。
- **脱水状態**のときは、メトホルミンをのまないでください。また、脱水が起きないように注意してください。
 - ▶ 次の状態(シックデイ)のときには脱水を起こすことがありますので、メトホルミンをのむのをいったんやめて医師または薬剤師に相談してください。



下痢、嘔吐(おうと)



食欲がなく
食事がとれない



熱がある

- ▶ 脱水を予防するため、適度に水分をとるよう心がけてください。
- お酒を飲みすぎないようにしてください。
- 次のときには、メトホルミンをのんでいることを医師または薬剤師に伝えてください。
 - ▶ 手術を受けるとき
 - ▶ **ヨード造影剤**を使う検査や治療(造影CT、尿路造影、血管造影など)を受けるとき
 - ▶ 他の医師から何か薬を処方してもらったときや、薬局などで他の薬を購入するとき

4 低血糖について

(1) 低血糖とは

血液中の糖分が少なくなりすぎた状態です。低血糖は危険な状態ですから、このようなことが起こらないように注意し、もし起こったら軽いうちに治してしまわなければなりません。

(2) 低血糖が起こったら

- 低血糖が起こったら、すぐに糖質を含む食品をとってください。
- アカルボース(商品名:グルコバイなど)、ボグリボース(商品名:ベイスンなど)、ミグリトール(商品名:セイブルなど)という薬をのんでいる場合は、砂糖ではなく必ず**ブドウ糖**をとってください。

(連絡先等)

 住友ファーマプロモ

製造販売元

住友ファーマプロモ株式会社
大阪府吹田市江の木町 33-94

販売元(文献請求先及び問い合わせ先)

住友ファーマ株式会社
〒541-0045 大阪市中央区道修町 2-6-8